学校番号	317

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	ワークシート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■表現及び鑑賞の活動において美術における造形的な見方・考え方を働かせ、感じ取って表現することや、意図や根拠をもって美術のよさを視覚で表すことめざす。
・授業の進め方は表現活動と鑑賞活動を平行して行う。発表会は随時行う。
・授業には積極的に参加し、アイデア段階から自発的に考え常に工夫し続ける姿勢を重視する。
・作品提出は期限をまもり、必ずすべてを提出する。必要により補習を行う。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ美的体験を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術制作に向けて	・オリエンテーション 教科書や授業作品等を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術2」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒同士でモデルをたて人物の10分程度で早描きをおこなう。 人体の構造の理解、骨格を意識する。 (今後、授業開始時に行いデッサン力、集中力の向上を目指す)	◎ ◎	 ○	 ◎	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構図などを工夫している。 c:クロッキーする目的を理解し、素早く形体をつかみ鉛筆の特性を生かしながら的確に表現している。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている	学習活動の様子 制作の様子 作品
1学期	自画像で自己紹介	・油絵自画像鑑賞 1年生3学期で制作した自画像をもとに、自己紹介をかねた鑑賞会を行う。	◎			◎ ◎	a:友人の作品を見て、多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている d:作品のよさや美しさ作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深める。	学習活動の様子 鑑賞ワークシート
1学期	デザイン・レタリングの基礎	・作図 ・レタリング ケント紙に定規で作図する。 ゴシック体・明朝体の特徴を正確に理解しそのポイントを押さえたレタリングを行う。 書体による見え方の効果や用法について理解する。	◎ ◎	○ ○	 ◎		a: 作図やレタリングの基礎に関心を持ち、その用法を考えながら取り組めている。 b:条件や書体の特徴から、働きを考えて表現している。 c:ゴシック体と明朝体の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に制作している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

1学期	レタリングによる絵画表現	・アイデアスケッチ レタリングと絵画表現を融合させ独創的な美しいアイデアを考える テーマ「自分の名前」 ・アイデアスケッチの相互鑑賞(班) ・彩色 アクリル絵の具やその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○ ◎ ◎ ◎ ◎	 ◎ ○	 ◎	 ◎ ◎	a:作図や変形の面白さに気付き、表現の目的を考えながら主体的に取り組もうとしている。 b:自己や社会などを深く見つめ、考えたことから個性豊かで創造的な表現の構想を練り主題を生成している。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、創造的に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
夏休み	高校展鑑賞レポート	・高校展鑑賞レポート 夏休みの宿題 各自美術館に足をはこび、高校生の優れた作品を鑑賞する。	◎	○		◎	a:各自が美術館におもむき、積極的に鑑賞しているか。 b:鑑賞の中で２学期以降の自らの美術制作に生かせる工夫を見いだせているか d:鑑賞での感動がしっかりと表現されたレポートが作成できたか。	鑑賞レポート
2学期	オマージュ作品鑑賞	・鑑賞ワーク オマージュ、パロディ、パクリの違いや著作権について考察し発表する。(班活動)	◎			◎	a:作品や表現に関心を持ち積極的に鑑賞、発言している。 d:鑑賞の中で著作権について理解し、オマージュ作品としての創造的な良さを感じ取っている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容

2学期	油絵 名画オマージュ	・題材選び オマージュしたい作品を決める。作品について鑑賞しその表現の特徴的な部分を探す。 ・制作 名画作品の特徴を押さえながらオリジナルの油絵作品を制作する。 ・鑑賞 自分の表現にはない、新たな表現技法の獲得はあるか。	◎ ◎ ◎	○	◎	◎	a:オマージュ表現に関心を持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:選択した作品の特徴に自分の表現したい主題を融合させた構成を追及している。 c:選択した技法の特徴や効果を理解し、自分の表現したい主題を油絵として豊かに表現している。 d:作品の形や色、造形的な魅力を自分なりに解釈し、その良さを感じ取っている。	鑑賞ワークシート 調べ学習 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
3学期	チョークアート ルームプレート作り	・準備 木材の切断とペンキによる塗装 ・デザインのアイデアスケッチ 「用と美」を考えながら独創的なデザインを各自で考える ・制作 オイルパステルやその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○	◎ ○	◎	a:ルームプレートデザインの目的を考えながら、表現の独創性の取り入れ主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、デザインの働きや作品になどについて理解を深めている。	ワ制作の様子 製作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a： 美術への関心・意欲・態度　　b： 発想や構想の能力

c： 創造的な技能　　d： 鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。